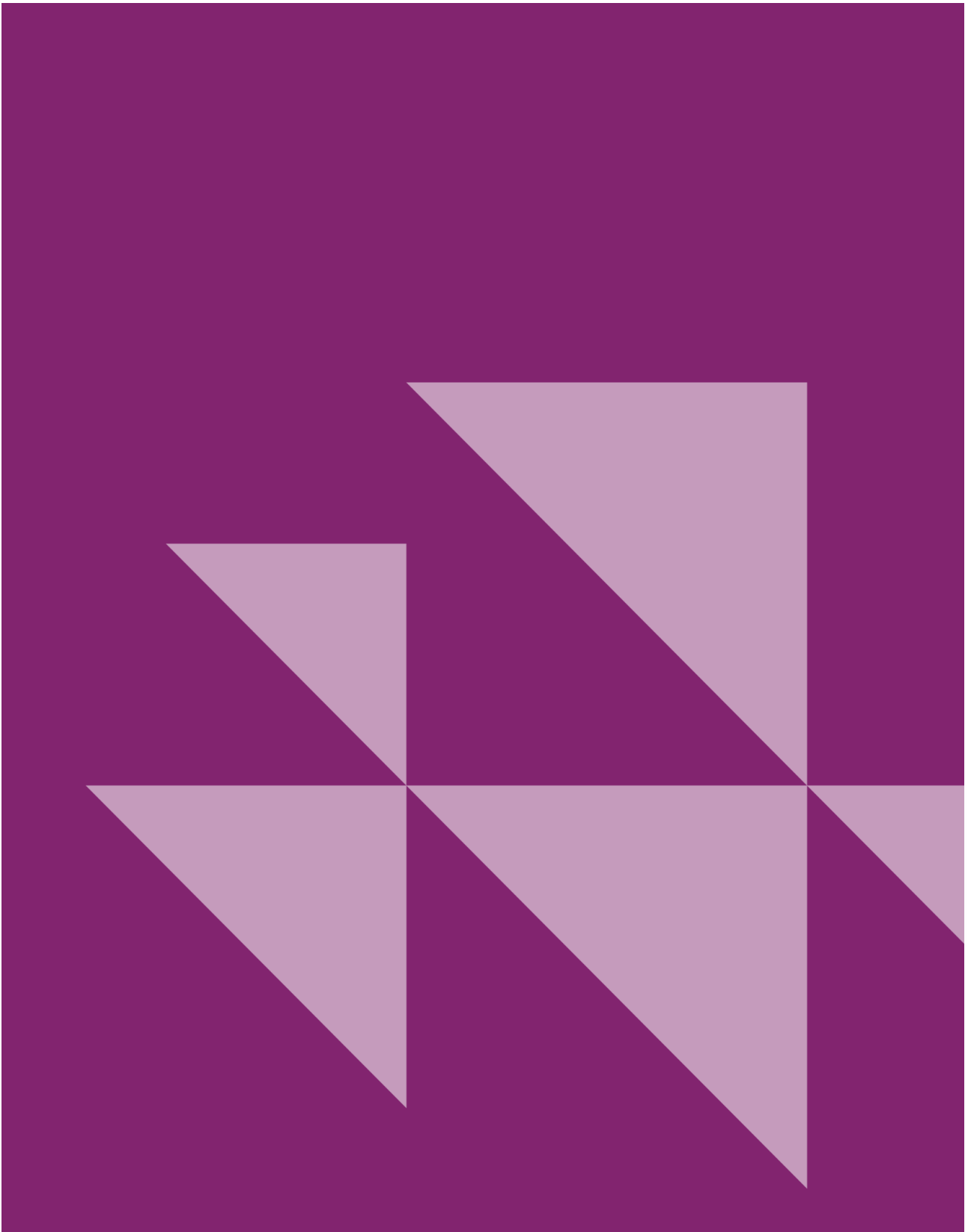

CDP2020 サプライヤーエンゲージメント評価 イントロダクション

CDP 気候変動プログラム 2020



Contents

CDP サプライチェーンプログラムの サプライヤーエンゲージメント評価のご紹介	4
サプライヤーエンゲージメント評価基準.....	5
ガバナンス	6
質問: C1.3, C1.3a 社員のパフォーマンス、C3.1 事業戦略への統合	6
背景・根拠:.....	6
スコアリング基準の概要:.....	6
目標	7
質問: C4.1; C4.1a; C4.1b; C4.2; C4.2b	7
背景・根拠:.....	7
スコアリング基準の概要:.....	7
スコープ 3 排出量	7
質問: C6.5 スコープ 3 排出量	7
背景・根拠:.....	7
スコアリング基準の概要:.....	7
サプライヤーとの協働.....	8
質問: C12.1; C12.1a; サプライヤーとの協働.....	8
背景・根拠:.....	8
スコアリング基準の概要:.....	8
サプライヤーとの協働 CDP 気候変動質問書全体の回答評価	8
質問: C1-C14	9
背景・根拠:.....	9
スコアリング基準の概要:.....	9
サプライヤーエンゲージメント評価の結果公表.....	10
主なスケジュール	10
お問い合わせ	10
FAQ	11

CDP サプライチェーンプログラムの サプライヤーエンゲージメント評価のご紹介

購買企業はサプライチェーンにおいて重要な環境変化をもたらすことのできる可能性があります。しかし、2019年時点で、CDP 気候変動質問書に回答したサプライヤーの41%のみが自社のサプライヤーとGHG排出量や気候変動戦略に関して協働していると回答しています。

サプライヤーとの協働の取組みを評価し、ベストプラクティスを認めるシステムを構築することによって、CDPは購買者の協働の動きを強化し、全世界のサプライチェーンにおける排出量に関する取組みを加速させることを目指しています。特に、企業がサプライヤーとの協働戦略を開始する際に直面する以下の2つの重要な障害について、対応することを目指しています。

1. 企業は持続可能なサプライチェーン管理のベストプラクティスがどのようなものであるかわからない。購買プロセスを見直し、購買の際に環境情報を統合するための戦略を策定するという膨大な作業は非常に困難である可能性があり、多くの企業は行動の基盤となるベストプラクティスを特定することに苦労しています。
2. 企業は気候変動に関するサプライヤーとの協働に対して評価を得られないと考えている。CDPの経験によると、企業は、自社の行動に対して評価を得る機会が与えられたときに業績が向上することが示されています。CDPは、企業のアクションと管理活動の継続的な改善をサポートするための素晴らしい業績を評価し、表彰しています。

パイロット期間が成功し、サプライヤーエンゲージメント評価のコンサルテーションに参加した全ての企業が、本評価によってサプライヤーとの協働活動の向上に役立ったと考えていることがわかりました。さらに、半数以上がサプライヤーの気候変動に関するプロフィールを作成するためのツールとして活用していました。サプライヤーエンゲージメント評価は、2020年で5回目の実施となります。

サプライヤーエンゲージメント評価の対象企業

顧客企業や投資家の要請によりCDP気候変動質問書の完全版に回答した企業は、サプライヤーエンゲージメント評価の対象となります。ただし、締切までに回答を提出した場合2020年は簡易版質問書に回答した企業はサプライヤーエンゲージメント評価を受けることはできません。

サプライヤーエンゲージメント評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価は、CDP 気候変動質問書の 4 つの分野の質問（ガバナンス、意欲、スコープ 3 管理、サプライヤーとの協働）への回答に基づいて評価が行われます。具体的には、ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量、スコープ 3 排出量（サプライヤーとの協働）セクションの質問となります。さらに、CDP 気候変動質問書全体のスコアも、気候変動に関する企業のパフォーマンス評価の指標として考慮されます。フォレスト質問書や水セキュリティ質問書、サプライチェーン追加質問（気候変動／フォレスト／水セキュリティ）への回答内容は考慮されません。

D より上の評価を得るためには、サプライヤーと協働していることを回答しなければいけません。（詳細については、スコープ 3 排出量：サプライヤーとの協働をご覧ください。）

各質問セクションへのポイントは、サプライヤーエンゲージメント評価の最終的な評価に以下のように反映されます。

スコアリングカテゴリ	サプライヤーエンゲージメント評価におけるウェイト
ガバナンス	20%
目標	15%
スコープ 3 排出量算定	20%
サプライヤーとの協働	35%
CDP 気候変動質問書全体のスコア	10%

最終的なスコアの評価は、以下の閾値に従って、最終的なサプライチェーンエンゲージメント評価に換算されます。上記の 5 つのスコアリングカテゴリの評価が最終評価よりも上回ることはありません。

サプライチェーンエンゲージメント最終評価	閾値
A	76% - 100%
A-	66% - 75%
B	56% - 65%
B-	41% - 55%
C	26% - 40%
C-	16% - 25%

D	9% - 15%
D-	1% - 8%
F	0%

サプライヤーエンゲージメント評価で最高評価を得るためには、顧客企業または投資家からの回答要請に対して、回答内容を一般に公表する必要があります。CDP への回答や一般に公表されているデータに、当該企業の持続可能性に疑いを生じるようなものがないことを確かめるため、CDP は最高スコアを獲得した全ての企業の回答を見直す権利を留保しています。2020 年、CDP のプログラムに関係する社会的、環境的テーマの報告年におけるデータをデータプロバイダーである RepRisk から提供を受け、レビューを行います。

主なセクションのスコアリング基準については、関連する質問内容と、根拠、採点基準の概要と共に以下に概説しています。CDP ウェブサイトのガイダンスページに、CDP2020 サプライヤーエンゲージメント評価手法の文書があり、採点基準の詳細や各質問の配点を掲載しています。

ガバナンス

質問: C1.3, C1.3a 社員のパフォーマンス、C3.1 事業戦略への統合

- ▼ C1.3a 気候関連問題の管理に対して提供されるインセンティブについて具体的にお答えください。
- ▼ C3.1 御社の事業戦略/財務計画の中に気候変動課題が組み込まれていますか？

背景・根拠:

企業が従業員にサプライヤーとの協働に関してインセンティブを提供しているかどうかは、サプライチェーンにおいて気候変動管理の重要性をどのように位置づけているかの一つの指標です。

事業支出のプロファイルは企業の全体的な戦略に大きく影響を受けます。気候変動問題を事業戦略に組み込むことは、調達優先順位とサプライヤーとの協働に反映されます。

スコアリング基準の概要:

気候変動に関するサプライヤーとの協働に関連したインセンティブの提供についてポイントが付与されます。金銭的なインセンティブに対しては満点が、その他のインセンティブに対しては部分点が、以下の基準に従って付与されます。

- ▼ バイヤー/購入者または全ての従業員が気候変動問題の管理についてのインセンティブを受ける対象である
- ▼ 最高調達責任者(CPO)または最高財務責任者(CFO)が気候変動問題の管理についてのインセンティブを受ける対象である
- ▼ 調達の際に環境評価基準を取り入れるサプライチェーンとの協働が、インセンティブ提供の基準である

事業戦略に気候変動問題を組み込んでいる場合、満点が付与されます。無回答であったり、気候変動が事業戦略に組み込まれていない場合、得点は与えられません。

目標

質問: C4.1; C4.1a; C4.1b; C4.2; C4.2b

- ▼ C4.1a 御社の排出量総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。
- ▼ C4.1b 御社の排出原単位目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください
- ▼ C4.2b メタン削減目標を含む、御社の他の気候関連目標の詳細を教えてください。

背景・根拠:

スコープ 3 排出量上流に対する排出削減目標を設定している企業はサプライチェーンにおける排出量の認識を示しています。

スコアリング基準の概要:

総量目標または原単位目標について、以下の通り回答している場合、得点が付与されます。2020 年は、SBTi で承認されたターゲット、または CDP リーダーシップのスコアリング基準を満たすターゲットを持つことで、新しいポイントが加点されます。

- ▼ SBTi で承認された総量と原単位目標の両方に満点が付与されます。または、CDP リーダーシップのスコアリング基準を満たす総量目標に満点が付与されます。
- ▼ “スコープ 3:購入した商品およびサービス”または、スコープ 3(上流)排出量を含む目標 (例: スコープ 1+2(マーケット基準)+3) に関する総量または原単位目標を回答している場合、満点が付与されます。
- ▼ その他の上流のカテゴリについての総量または原単位目標を回答している場合、部分点が付与されます。
- ▼ “サプライヤーとの協働”における追加的気候関連目標を回答している場合、満点が付与されます。

スコープ 3 排出量

質問: C6.5 スコープ 3 排出量

- ▼ C6.5 御社のスコープ 3 排出量について、除外項目を開示・説明も含めて回答してください。

背景・根拠:

上流のスコープ 3 排出量を回答することは、サプライチェーンにおける気候変動関連影響を測定する能力があることを示しています。

スコアリング基準の概要:

スコープ3 排出量（上流）の各カテゴリについて評価し、回答したものについて得点が付与されます。この質問の評価基準は、以下の一点を除き、CDP 気候変動質問書のスコープ3 排出量の採点基準と同様です。異なる点は、“購入した商品およびサービス”のカテゴリについて、“関連性あり、計算済み”を選択し、“トン CO2 換算”及び“排出量算定方法”の両方を回答している場合のみ満点が付与される点です。

サプライヤーとの協働

質問: C12.1; C12.1a; サプライヤーとの協働

- ▼ C12.1 気候関連問題に関してバリューチェーン上でエンゲージメントしていますか？
- ▼ C12.1a 気候関連のサプライヤー協働戦略の詳細を記入します。

背景・根拠:

本質問を通して、企業はより深い文脈においてサプライヤーとの協働戦略の完全性と影響を示すことができます。

スコアリング基準の概要:

D より上の評価を受けるためには、C12.1 でサプライヤーと協働していることを示さなければなりません。 サプライヤーとの協働について、以下の通り回答している場合、得点が付与されます。

- ▼ 協働しているサプライヤーの数と、総支出に対するそのサプライヤーに関連する支出の割合を回答している場合、得点が付与されます。
- ▼ サプライヤーエンゲージメント評価では、協働の種類と支出またはスコープ3 排出量の割合に基づき得点が付与されます。協働の種類は、以下の表のとおり、支出に関連してその成熟度が判断され、得点が左右されます。

支出またはスコープ3 排出量の割合	コンプライアンス及び 新人研修	情報収集、または 協働及びインセンティブ 付与	技術革新および協力
0%	0/8	0/8	0/8
1-39% or 1-49%*	2/8	4/8	6/8
40-100% or 50-100%*	4/8	8/8	8/8

* 1-49% と 50-100%のバンドスコアは、“情報収集”カテゴリーにのみ適用されます。

サプライヤーとの協働 CDP 気候変動質問書全体の回答評価

質問: C1-C14

背景・根拠:

気候変動による影響全体をしっかりと管理していることを示している企業は、サプライヤーとの協働に際してもリーダーシップを取っていると言えます。

スコアリング基準の概要:

CDP 気候変動質問書のスコアに基づき、以下の通り得点が付与されます。

CDP スコア	A	A-	B	B-	C	C-	D	D-	F
得点	10/10	9/10	6/10	5/10	4/10	3/10	2/10	1/10	0

サプライヤーエンゲージメント評価の結果公表

CDP2020 気候変動質問書完全版に回答した全ての企業がサプライヤーエンゲージメント評価を受け、2020年11月にフィードバックを受けます。

スコアは、CDPの他のスコアリングや評価システムと同様に、アルファベットで表示されます。CDPのポリシーに従い、この評価は一般には公開されず、回答企業と、その回答企業に回答要請を行った企業のみに表示されます*。回答企業へのフィードバックはEメールでCDPより回答提出者に送付されます。

*例外：サプライヤーエンゲージメント評価のリーダーシップ基準を満たした企業は、優秀企業として、CDP サプライチェーンレポート内で取り上げられます。優秀企業には、優秀企業用のCDP ロゴを含め、その評価をアピールするための材料が提供されます。

主なスケジュール

2020年のサプライヤーエンゲージメント評価のスケジュールは以下の通りです。

内容	日程
CDP ウェブサイトにてサプライヤーエンゲージメント評価手法を公表	2020年4月
サプライヤーエンゲージメント評価の実施	2020年8月～11月
CDP サプライチェーンレポートと報告会において優秀企業の発表	2020年11月

お問い合わせ

サプライヤーエンゲージメント評価に関するご質問は以下までお問合せください。

英語：respond@cdp.net

日本語：japan@cdp.net

FAQ

サプライヤーエンゲージメント評価（SER）とは何ですか？

平均的に、企業の上流の排出量は、自社の直接排出量の 5.5 倍にあたりと試算されています。従って、企業はサプライチェーンに影響を及ぼすことによって、グローバルでの排出削減に大きく寄与することができます。

サプライヤーエンゲージメント評価では、アルファベットでスコアを示し、どのように効果的に企業が気候変動に関してサプライヤーと協働しているのかを評価します。（最新のレポートと 2019 年のサプライヤーエンゲージメント評価優秀企業のリストはウェブサイトでご覧いただけます。）

サプライヤーエンゲージメント評価のイントロダクションウェビナー（英語）では、その目的と 2020 年のスコアリング基準をご紹介します。

どのようにサプライヤーエンゲージメント評価を算出しますか？

CDP 気候変動質問書の、ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量、バリューチェーンとの協働に関する質問に対する企業回答に基づき、サプライヤーとの協働状況に関して評価を行います。

CDP2020 サプライヤーエンゲージメント評価基準は、他のスコアリング基準と共に、CDP ウェブサイトのガイダンスページより入手可能です。

サプライヤーエンゲージメント評価結果は公表されますか？

サプライヤーエンゲージメント評価結果は、A のスコアを獲得した場合を除き、非公表で、CDP ウェブサイトやレポートなどで公表されることはありません。スコアは回答企業にメールで通知され、ウェブサイト上の自社のコーポレートダッシュボードで表示されます。2020 年は、評価結果は回答要請のあった投資家には公表されませんが、顧客企業には共有されます。投資家要請に対して初めて回答する企業は、A のスコアを獲得した場合に優秀企業として公表されないことを選択することができます。

サプライヤーエンゲージメント評価を受けるためには、別の質問書に回答する必要がありますか？

いいえ。CDP 気候変動質問書の、ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量、バリューチェーンとの協働に関する質問に対する企業回答に基づき、サプライヤーとの協働状況に関して評価を行います。CDP2020 サプライヤーエンゲージメント評価基準は、CDP ウェブサイトのガイダンスページより入手可能です。

サプライヤーエンゲージメント評価の対象となる企業はどの企業ですか？

CDP 気候変動質問書の完全版に回答した全ての企業に対して、気候変動スコアに加えてサプライヤーエンゲージメント評価を実施します。評価を受けるためには、回答期限内に回答を提出するか、オンデマンドスコアリングのサービスを購入してください。簡易版質問書に回答した企業は評価の対象にはなりません。CDP サプライチェーンメンバーと、顧客企業の要請に基づき CDP サプライチェーン質問書に回答している企業は 2016 年からサプライヤーエンゲージメント評価を受けています。2019 年から、投資家の要請のみに基づき回答している企業にも評価対象を拡大しました。

なぜ、投資家要請のみの企業にも評価対象を拡大したのですか？

サプライヤーエンゲージメント評価は、購買企業（CDP サプライチェーンメンバー）の要請によって、サプライヤーとの協働のベストプラクティスをよりよく理解し、サプライヤーとの協働がどのように効果的に次のサプライチェーンに引き継がれているかを可視化するために開始されました。従って、サプライヤーエンゲージメント評価は、当初は、CDP サプライチェーンメンバーと、顧客企業の要請によって回答している企業のみにも適用されていました。しかし、平均的に、企業の上流の排出量は、自社の直接排出量の 5.5 倍にあたりと試算されており、企業はサプライチェーンに影響を及ぼすことによって、グローバルでの排出削減に大きく寄与することができることから、CDP 気候変動質問書に回答する全ての企業にとって有益な評価指標であると考えています。

自社のサプライヤーエンゲージメント評価結果はどこで入手できますか？

サプライヤーエンゲージメント評価結果は CDP 気候変動質問書回答のメインユーザーに E メールで通知されます。また、コーポレートダッシュボードの“スコアと回答”欄にも表示されます。

いつサプライヤーエンゲージメント評価結果を入手できますか？

2020 年の主なスケジュールは、CDP ウェブサイトにて確認ください。

サプライヤーエンゲージメント評価結果は投資家にも共有されますか？

2020 年の回答に基づくサプライヤーエンゲージメント評価結果は投資家には共有されません。

サプライヤーエンゲージメント評価結果は顧客企業にも共有されますか？

回答要請のあった顧客企業（CDP サプライチェーンメンバー）に対して回答を提出した場合は、結果が共有されます。

どのようにサプライヤーエンゲージメント評価結果は活用されていますか？

サプライチェーンメンバーは、サプライヤーとの協働のベストプラクティスをよりよく理解し、サプライヤーとの協働がどのように効果的に次のサプライチェーンに引き継がれているかを理解するためにこの評価を活用しています。回答企業は自社のサプライヤーとの協働活動がどの程度効果的であるかを理解することができます。A 評価を受けた企業は優秀企業として取り上げられ、ベストプラクティスがどのようなものであるかを示すことができます。

いつからサプライヤーエンゲージメント評価は実施されていますか？

サプライヤーエンゲージメント評価は、2015年のCDP サプライチェーン気候変動質問書（顧客企業の要請により回答するCDP 気候変動質問書）の回答に基づき、2016年に導入されました。CDP サプライチェーンメンバーと、顧客からの要請に基づき回答した企業が、2016年からサプライヤーエンゲージメント評価を受けています。2019年から評価対象企業を、投資家のみからの要請で回答している企業にも拡大しました。

サプライヤーエンゲージメント評価はCDP 気候変動スコアに影響しますか？

影響しません。

CDP 気候変動スコアはサプライヤーエンゲージメント評価に影響しますか？

はい。CDP 気候変動スコアはサプライヤーエンゲージメント評価基準の一つです。詳細についてはCDP2020 サプライヤーエンゲージメント評価手法をご覧ください。

回答企業はどのようにサプライヤーエンゲージメント評価のフィードバックを受けられますか？

サプライヤーエンゲージメント評価のフィードバックチャートはダッシュボード上から閲覧可能です。（ただし、2019年以前に投資家要請のみに回答していた企業には表示されていません。）

CDP 気候変動スコアリング基準に基づくバリューチェーン協働カテゴリのスコアと異なる形でサプライヤーエンゲージメント評価を実施するのはなぜですか？

CDP 気候変動スコアとそのカテゴリ別スコアはサプライヤーエンゲージメント評価と比較可能なものではありません。CDP 気候変動スコアのバリューチェーン協働セクションのスコアは、質問C12の回答のみに基づいており、バリューチェーンの上流と下流両方の協働の活動にフォーカスしたものです。サプライヤーエンゲージメント評価では、質問C12以外にも対象となっており、ガバナンスやCDPスコアなどを考慮して、バリューチェーンの上流のみにフォーカスしています。この違いはそれぞれのスコアの目的が異なるためです。バリューチェーン協働セクションのカテゴリスコアは、CDP 気候変動回答評価の多岐にわたる分野の一部で、上流、下流のバリューチェーン戦略に特化しています。気候変動管理の全体的なアプローチに関して、ステークホルダーが活用し、企業をベンチマークするための幅広い指標の一部です。しかし、サプライヤーエンゲージメント評価は、サプライヤーとの協働に関するリーダーシップ企業をハイライトし、企業が自社のサプライチェーンへの波及的なアクションの効果をベンチマークできるようにするために開発され、効果的にこの取り組みを波及させるためには企業の気候変動に対するアプローチを幅広く要素に入れる必要があります。CDP 気候変動スコアはサプライヤーとの協働の達成状況を示すスコアを提供しているわけではなく、平均して直接排出量の5.5倍以上になるサプライチェーン排出量に対応しようとしている企業取り組みを理解できるわけではないため、サプライヤーエンゲージメント評価として別の評価を実施しています。サプライヤーエンゲージメント評価手法は、CDP 気候変動評価手法と比べるとまだ成熟しておらず、多くの企業がまだ直接操業の範囲を超えて必要なアクションをとっているとは言えないため、サプライヤーエンゲージメント評価のリーダー企業の特定は、よりシンプルなものになっています。しかし、他のCDPのスコアリング基準

のように、今後データユーザーの要望がある場合や、企業行動を適切なものに変化させるために、サプライヤーエンゲージメント評価基準を修正し、より厳しいものにしていく計画です。